



自分らしく DV(ドメスティック・バイオレンス)について考えてみましょう

「ドメスティック・バイオレンス」とは、配偶者や恋人など親密な関係における暴力のことを言います。


暴力の被害者は多くの場合女性です。妻は夫に従うものという社会的通念や男女の経済的格差などが関係しています。また、家庭内での暴力は、それを目撃する子どもへの心理的虐待にもなります。

いくら親しい間柄であっても「暴力は許されない」ことをあらためて考えてみましょう。

もしも心当たりがあったら…
DV相談ナビ(内閣府男女共同参画局)
TEL.0570-0-55210
※PHS、一部のIP電話からはつながりません。

? この中でDVにあたるものはどれでしょう

- ①平手で打つ
- ②殴るふりをして脅す
- ③何を言っても無視して口を聞かない
- ④常にどこにいるのか報告させる
- ⑤友人との付き合いを制限する
- ⑥「別れたら死ぬ」と言って脅す
- ⑦「お前は稼げなくせに偉そうなことを言うな」と言う
- ⑧大声で怒鳴る
- ⑨中絶を強要する
- ⑩仕事を辞めさせる



°±¼½¾¿: 景

ようこそ手話の世界へ

福祉課 (内線217)



かんたん手話講座 手話で話そう!

スポーツ観戦が



胸の前で前後に回す



親指と人差指で丸を作る

岐阜県聴覚障害者協会は、1953年に「岐阜県聴覚障害者福祉連合会」として発足し、1983年に社団法人化され現在の名称となりました。会員の相互交流のため、1974年3月3日に岐阜市で「耳の日文化祭」がスタート。会員それぞれが趣味の作品(写真・手芸・絵画・陶芸など)を展示し、野外では模擬店も出されました。他にも、出版物コーナーや福祉機器の展示もありました。

趣味です



頬から開いた手を握りながら前に出す



県内各地から多くのろう者が集まりにぎわうようになった現在は、県民の皆さんに手話を広める場になるよう「手話まつり」と改名され、秋に各市持ち回りで開催されるようになりました。今年度は11月15日に大垣市で開催される予定でしたが、コロナ禍の影響で中止になりました。ろう者にとってこのイベントは、手話で思い切りコミュニケーションができる年に一度の大切な行事です。来年は開催されたときは、皆さんも参加し、日常とは違う手話いっぱいの世界を体験してみませんか。